

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900347		
法人名	ミモザ株式会社		
事業所名	ミモザ西船橋		
所在地	千葉県船橋市海神町南1-735-1		
自己評価作成日	平成29年10月10日	評価結果市町村受理日	平成30年1月12日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成29年11月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節感を感じて頂けるような空間づくりやイベントに合わせた食事を提供しています  
看取りを行うようになり職員の研修にも力を入れております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

家族や地域の協力を得て二胡やピアノ・フルード演奏会、生け花教室等生活に変化を持たせる支援をしている。エントランスの鉢植を通しての近隣の方との交流、近くの運送会社の方とも交流する等地域にミモザ西船橋を認識して頂けるようになってきた。毎月職員を講師としての30分研修と受講報告書提出や法人の実技スキルアップ研修、マイスター制度や資格取得制度を活用して職員の育成に取り組んでいる。入居者一人ひとりの細かな変化に気付く力を養い、職員同士が情報共有することを大切に、ケアプランに基づいた個別ケアに努め、「豊かな感性もつ・心温まるケア・小さな気付きを大切に」との介護理念実践に繋げている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	西船橋の理念に基づき、職員一人一人が意識し、入社当時から位置づけを行いサービスを提供しています	経営理念とミモザ西船橋の介護理念を職員の目につき易い所に掲示している。毎月のスタッフ会議で「毎日、入居者一人ひとりの変化に気付き対応すること、職員同士の報・連・相を活発にし情報を共有すること」を大切に、介護理念の実践に取組んでいるかを確認し合うようにしている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの保育所との交流や、ヤマト運輸などとの交流がはかれるようになり、散歩などにも声をかけて頂くなど地域の一員として行動しています	近くの保育園との交流も定着し、夏祭りやクリスマス会に20名近い園児が遊戯や歌の披露に来てくれ、入居者と一緒にお遊びをしている。近くの運輸会社の方が芋煮会に来てくれ、その後サクランボを頂いたり散歩時に挨拶している。黄色い車のパン屋さんに近所の方も一緒に集まったり、玄関周りの鉢植を通してマンションの方たちとの交流も始まった。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域交流の一環で西船橋でのイベントのお誘いなどもして、認知症の施設であることをお知らせしています		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度のペースで運営推進会議を行い、現在の状況などのお知らせや、利用者様の様子を見て頂き助言などをいただいています ご家族にも案内を出しています	家族代表や地域包括支援センター職員が参加し、サービス提供状況や実際の入居者の生活も見て頂きながら、2ヶ月に一度定期的に開催している。看取り、訪問パン屋さん、食事や筋力低下防止についてなど活発な意見交換が行われている。	地域の方も出席する会議にするため、地域社協や民生委員の方、自治会の方等に声掛けをしているとのことであり、実現することが期待される。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ミモザ通信等を地域包括、生活支援課、事業所に情報提供をし、協力関係を築いている	ミモザ通信を地域包括、市役所生活支援課や介護保険課に届けている。生活支援課とは毎月、介護保険課などには書類提出時訪問している。地域包括とは毎月入居状況などの情報交換を行っている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしていません 毎年、虐待と身体拘束の研修を行い、外部の研修にも参加しており、基本的に拘束となる行為はしていません	職員が講師となってホーム内30分研修を毎年行っている。今年は特に身体拘束「ゼロ」への手引きで拘束についての理解を深める共にスピーチロックについて皆で話し合い意識を高め、日々のケアに活かすようにしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の研修なども行い、職員も日々観察を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	生活保護の方にはなるべく後見人をたてサービスを行いたい、またご夫婦に後見人の方がついているため良い機会が持っています		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容に改定があった場合は、その都度ご家族、関係機関に施設側より十分な説明をさせて頂いております		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族会などを実施したり、面会時にお話させていただき意見交換の場を設けています	ミモザ通信で吹き出しコメント付きの写真と一緒に身体面・精神面・生活面の分けて生活状況を毎月送付し家族との信頼関係を築くようにしている。夏祭りやクリスマス会に合わせて家族会を年2回開催しており面会時も含めて意見や要望を言っただく機会を多くしている。食事の件やテーブルが狭いなど頂いた意見を改善に繋げている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月スタッフ会議を開催し、業務改善及びサービスの向上に努めております	毎月のスタッフ会議では職員から多くの提案が出され、シフトによる業務変更、入浴時間変更や物品購入など運営に反映させている。ホーム内30分研修を職員を講師役として計画的に実施している。本社のスキルアップ研修やマイスター制度受講希望者には補助を出して受講を促している。時給にも反映され職員育成と共にモチベーションの向上にも繋がっている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	当社就業規定にて、定期的に公平な評価を行っています。 資格や本社開催の研修受講などの参加もふくまれます		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社にてスキルアップ研修やマイスター制度があり職員の希望で受講できる環境があり、また時給にも反映されるためモチベーションにもつながっています		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会や西部地区の連絡会に参加しネットワークやサービスの向上に努めております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者本人との面談を行うとともに、ご家族と関係者からも希望や要望などお話をさせていただき関係づくりに努めております		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の前にご本人ご家族、関係者の方から話を聞かせて頂き関係作りに努めております。 ご家族が現在抱えている不安を当サービスを利用することで少しでも取り除いて頂けるように努めております		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当グループホームで出来る限りのことはさせていただきますようにしています		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者本位ということを忘れず介護させていただいております。また、たくさんのコミュニケーションをとり、信頼関係を深めています		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは密に連絡を取り合い、コミュニケーションを図っています。 ご利用者の繊細な変化なども随時ご報告させていただきます。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族には当施設でのイベントのお知らせなど来やすい工夫し、友人たちも面会に来やすい雰囲気づくりをしています	近所の方が定期的に面会に来る、サークルや同じ宗教の友人が訪ねて来るなど面会に来易い雰囲気作りをしている。住んでいたマンションに介護タクシーで行ったり、ご家族とお墓参りや馴染みの理髪店に行く方や外食をする方もいる。遠くは九州や静岡から親戚の方が訪ねて来るなど関係を続けられるよう支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	将棋や仲間で行えるレクを考えたり、集団体操を実施するなど孤立しないように努めております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了となったご家族でも、困った時などはいつでも声をかけて下さいと話させていた だいています		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	なるべくご本人の望みを聞いて、できるだけ意向を反映できるように努めています	3か月に一度、アセスメントと担当者会議を行っている。普段の生活を通じて本人の希望を聞いたり思いを推測している。本人の好みから推測して洋服を揃えることで喜ばれている。毎日の利用者の小さな変化を感じとりケアしており、その時にあわせてお話をじっくりと聞いて思いや意向を汲み取るようにしている。落ち着いて一人になれる時間を作ったり、横になってもらったり、気分を変えてもらえるよう支援している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人家族、担当ケアマネージャーから情報収集を行い、また入居後も本人の話からも把握できるように努めています		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の一日のペースを把握し、更にその日の変化を見逃さないよう日々の観察を 行っています		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にアセスメントを実施し、現状の様子から計画作成担当者を中心にスタッフとケアの在り方について検討し、ご家族の承認を得て介護計画としています	業務日誌ファイルにケアプランとケース記録を綴じ することで、全職員がプランを確認しやすい環境 となっている。利用者に変化があった時には職員で 話し合い、情報を共有している。職員の気づきは その都度メモでやりとりしている。モニタリングは ケアマネジャーが行っている。職員の提案により薬 剤師と医師とも相談し薬変更することで、発語が でき意思の疎通が可能となったケースもある。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を整備し、気づきや情報は申し 送りノートで共有し、必要に応じて介護計画 の見直しなども実施しています。また区分変 更なども行っています		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法令に違反しない範囲にてご家族やご本人の希望に添えるような柔軟な対応に努めて います		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のサークルへの参加や保育園の交流なども増え、少しずつ暮らしを楽しめる支援を行うようにしています		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療と24時間対応の協力病院と連携を取り合い速やかな受診が行えるよう支援している。また精神科、皮膚科、歯科も行っています	往診医が主治医となっている。医師や看護師からの指示、日々の体調変化は「申し送りノート」で共有している。訪問リハビリを活用することで拘縮予防に取り組み、歩行改善した方がいる。その他の病院への受診は原則家族が同行している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護を受け密に連絡を取っています		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携して常に情報交換を行っている。また早期に対応できるよう相談に努め、入退院時には介護サマリーなどを提供しています		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約提携時に重度化した場合について当施設の方針と内容について説明し、同意書を交わしています。併せて治療方針についてもご本人、ご家族から同意を得ています。またターミナルについても同意書を得ている方もいます	今までに看取りを行っている。ターミナル期を少しでも長くホームで過ごしてもらい、家族のご希望により病院で最期を迎える方もいる。職員の半数以上が法人内のその人らしく終わられる支援・介護職にしかできない寄り添うケアなどターミナルケア3つのポイント等の看取り研修を受講している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルや30分研修を行い、迅速な対応ができるように備えている。また消防署の救命救急の講習も受講している		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中や夜間帯に定期的に避難訓練を行っています。	建物は耐震構造、各居室には利用者のヘルメットも完備している。緊急連絡網も更新し職員に周知している。夜間には15分以内に6人の職員がかけつけることができる。防災マニュアルも整備し、備蓄品も用意している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりの人格を尊重し、その方に見合った対応を職員は心がけている。	動作の手順を忘れてしまっている方には、ひとつひとつ丁寧に声かけをして支援している。本人が嫌がることを強要せず、説明し時間をかけて納得してもらっている。声かけして嫌がることはしない、本人の嫌な時は外す等、一人ひとりの人格を尊重した対応を心掛けている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で好きなものを選んでいただいたり、気軽にご本人の希望等意思表示出来るように努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムなど乱れないよう留意しながら利用者様の希望する一日が過ごせるよう支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の服装などなるべく本人が選べるように声掛けをし悩んでいるときなど、バランス、季節感などアドバイスしながら一緒に選んだりしている。定期的に訪問美容も行っている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事について本人の好き嫌い、禁止食などを事前に聞き取り職員全体で把握し調理の際に反映させている。配膳、片付け、調理のできるものをお手伝いして頂いている。	野菜の下ごしらえ、下膳を手伝う方もいる。芋煮会や行事食、お寿司をとったり、稲荷寿司を皆で作ったりと食を楽しむ機会が多い。2週間に一度パン屋が来てくれ、楽しみにしている利用者も多い。お誕生日会にはケーキでお祝いしている。それぞれに合わせた食事形態での提供や、ごはんだけ時間差で提供することでの健康改善、経口摂取の負担を減らす補助品の活用など食事の工夫をされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録し排泄もチェックしている。必要に応じて刻み、ミキサー、トロミなどその方に合う方法で摂取していただけるよう努めている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に口腔ケアの声掛けをし、チェック表に記入する。困難な方は職員による口腔ケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を記入し排泄パターンの把握と共に失敗等なく清潔を保てるように支援している。排泄から見える体調変化にも留意している。	全てのトイレが車いす対応となっている。トイレの場所や動作を忘れてしまっても、布パンツで失敗しないように排泄チェック表をもとに声かけをしている。おむつ使用は夜間一名のみ。座位ができていればトイレでの排泄を支援していく。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排便状況を把握し、水分摂取、食事内容、運動等解消に努めている。便秘が続くなどの場合は連携病院と相談し処方していただいている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	楽しんで入浴できるよう温度や環境に気を配っており、午前か午後に入る時間を選んで頂くこともある。	1階の浴槽はチェアー浴、2階は一般浴となっている。脱衣所のエアコンと床暖房、浴室のエアコンにより温度差がないよう対策されている。バラ、ゆず、ラベンダー、森林浴など入浴剤を使っている。自分のお気に入りのシャンプーを用意して使う人もいる。入浴は週2回～毎日の方までそれぞれで、夏の夕方にはシャワー浴をする方もおり個々にあった支援となっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活習慣に合わせ、生活のリズムが乱れぬよう留意しながら体調やペースで自由に居室で休んだり、休息していただき、安眠できるよう室内や照明管理に努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬管理簿に最新の情報をのせ、職員全員閲覧でき情報の共有をし内服薬も一包装していただき、服薬事故のないように努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常的に体操や歌から季節に合ったレクなど提案し楽しんでいただいている。また掃除、洗濯物たたみ等自分でやれる事はしていただき自立支援している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣へは日常的に散歩などで外出できるようにしている。家族が面会時に外出に連れていくなどしている。	家族と散歩する方や、家族と職員と同行でご自宅に帰る方もいる。気候のよい時には週3日ほど散歩に出ることもある。ごみ捨てと一緒に出る入居者、庭の手入れをしてくれる入居者もいる。ベランダでは外気浴を楽しむこともある。	五感を刺激し筋力低下も防ぐためにも入居者への心地よい刺激の提供となる外出の頻度を増やすよう工夫することを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は紛失防止として基本的に事務所にてお預かりしている。嗜好品やお菓子の購入、医療費等のために使用している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や友人から電話や手紙が来ることもあります。原則通信は自由に行っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や気候に合った温度管理、雰囲気づくりをし、過ごしやすい生活空間を提供できるよう、常に工夫しています。 玄関リビングに配慮しています。	道路から玄関までの通路沿いには鉢植えの季節の花がきれいに咲き、近隣の方の評判もよい。玄関、リビングには季節のオーナメントや布製の手作りの装飾もされ、温かい雰囲気にあふれている。リビングにはソファの他、一人掛けの椅子も用意されている。大きなテレビとカラオケセットを活用して過ごすこともある。プランターに植えた芋の収穫を楽しみにしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングではソファでくつろげる空間をつくり、ベランダでの日光浴もできるように椅子を準備しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分のお部屋として自由に家具や調度品を持ち込み、居心地良く安心して暮らせるよう配慮しております。各居室には職員を呼ぶコールを設置しております	エアコン、カーテン、ベッド、クローゼット、呼び出しコールが完備されている。ピアノ、仏壇、タンス、カラーボックス、棚、テレビ、写真などを持参されている。生け花レクの後には自分の生けた作品をお部屋に飾っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部には段差もなく、車椅子生活の方でも自由に動けるようにされており、外出することもできます。浴室に1Fは機械浴式浴槽を設置、必要に応じて居室前に表札をつけるなどわかりやすい表示をしています		